

政策 03 教育・文化に関する政策

施策 01 学校教育の充実

あるべき姿

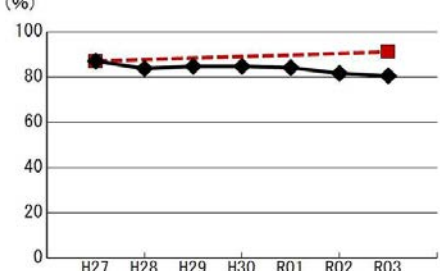
豊かな心と創造性をもち、はつらつとした学校生活を送っています。

■ 施策の成果状況と評価

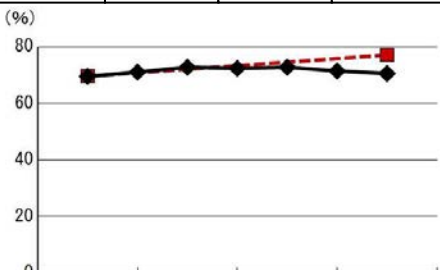
指標	学校での生活に満足していると回答している児童生徒の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	90.8	91.4	92.5	93.5	☀ (向上)
評価	(状況) 学校での生活に満足していると回答している児童生徒の割合は、埼玉県学力・学習状況調査の調査項目「学級での生活は楽しかったですか」という質問に回答した児童生徒の割合を指標としており、基準値(90.8%)と比較して、92.5%と、1.7ポイント向上しました。					対 前年度
	(要因) 各学校が家庭や地域と連携して、児童生徒のニーズに応じたきめ細やかな指導を行っていたこと、また各学校の教育課程のもとに、特色ある学校づくりの推進に努めていたことが挙げられます。					☀ (向上) 目標 達成度 ■■■ (中)

■ 基本事業の成果状況と評価

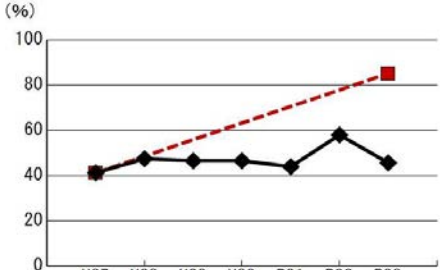
基本事業01 確かな学力の向上

指標	学習に対して意欲をもっている児童の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	87.0	81.6	80.5	91.0	☂ (低下)
評価	(状況) 学習に対して意欲をもっている児童の割合は、埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の、勉強する理由として「勉強することが楽しい、好き」「将来の役に立つ」と回答した児童の割合を指標としており、基準値(87.0%)と比較して、6.5ポイント低下しました。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 各学校で、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を図っていますが、学年が上がるにつれて、学習内容が抽象化・高度化することが挙げられます。					目 標 達成度 ■■■ (低)

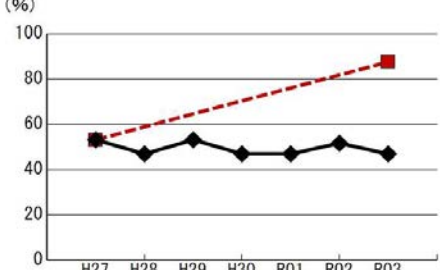
基本事業01 確かな学力の向上

指標	学習に対して意欲をもっている生徒の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	69.5	71.4	70.5	77.0	☀ (向上)
評価	(状況) 学習に対して意欲をもっている生徒の割合は、埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の、勉強する理由として「勉強することが楽しい、好き」「将来の役に立つ」と回答した生徒の割合を指標としており、基準値(69.5%)と比較して、1.0ポイント向上しました。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 学習内容が抽象化・高度化する中で、「勉強することが楽しい、好き」について、中1と中2の割合変動が大きく、各学校で、主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を図っています。					目 標 達成度 ■■■ (中)

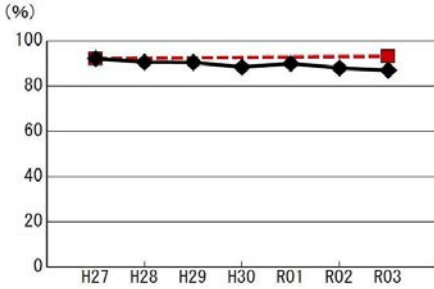
基本事業01 確かな学力の向上

指標	埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合（小学校）（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	41.2	57.9	45.6	85.1	☀ (向上)
評価	(状況) 埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合（小学校）は、基準値(41.2%)と比較して、4.4ポイント向上しました。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 各学校で、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を図っているとともに、いきいき先生や学力向上支援の配置により、各学校の実態に応じたきめ細かい指導をしたことが挙げられます。					目 標 達成度 ■■■ (中)

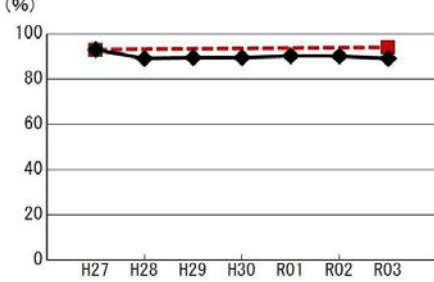
基本事業01 確かな学力の向上

指標	埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合（中学校）（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	53.1	51.6	46.9	87.5	☂ (低下)
評価	(状況) 埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合（中学校）は、基準値(53.1%)と比較して6.2ポイント低下しました。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 各学校において調査結果を活用したり、主体的・対話的で深い学びの視点での効果的な取組を共有したりするなど、取り組んでいます。結果に結びつきづらい部分もあり、今後の取組強化が課題と考えています。					目 標 達成度 ■■■ (低)

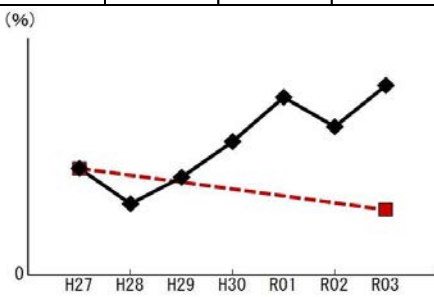
基本事業02 心の教育の推進

指標	規程ある態度の児童の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	92.1	87.9	86.9	93.0	☂ (低下)
評価	(状況) 規程ある態度の児童の割合は、基準値(92.1％)と比較して、5.2ポイント低下しました。しかし項目全てが80%を超えており、学年が上がるごとに、児童の自己評価は高いものになっています。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 学校ごとに「授業の約束」などの提示や実態把握の調査など、学校の日々の教育活動において、規程ある態度の育成に努めていることが挙げられます。					目標 達成度 ■■■ (低)

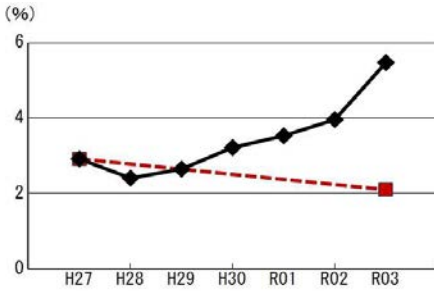
基本事業02 心の教育の推進

指標	規程ある態度の生徒の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	92.9	90.1	89.0	94.0	☂ (低下)
評価	(状況) 規程ある態度の生徒の割合は、基準値(92.9％)と比較して、3.9ポイント低下しましたが、多くの項目で80%を超えるなど、高い数値を示しています。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 学校ごとに「授業の約束」などの提示や実態把握の調査を実施したことが挙げられます。					目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 心の教育の推進

指標	不登校児童生徒の割合(小学校)（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	0.36	0.5	0.64	0.22	☂ (低下)
評価	(状況) 不登校児童の割合は、基準値(0.36％)と比較して、0.28ポイント低下しており、低下傾向にあります。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 友人関係や学業等、学校生活に起因するものや、家庭環境や親子の関わり方等の家庭に起因するもの、生活リズムの乱れや無気力といった本人に起因するものなど様々で、その要因は複合的に絡み合っているケースもあります。また、近年では新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休校等の影響もあると考えられます。					目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 心の教育の推進

指標	不登校児童生徒の割合(中学校)（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	2.92	3.96	5.47	2.10	☂ (低下)
評価	(状況) 不登校生徒の割合は、基準値(2.92％)と比較して、2.55ポイント低下しており、小学校と比べても高い割合になっています。					対 前年度 ☂ (低下)
	(要因) 友人関係や学業等、学校生活に起因するものや、家庭環境や親子の関わり方等の家庭に起因するもの、生活リズムの乱れや無気力といった本人に起因するものなど様々で、その要因は複合的に絡み合っているケースもあります。また、近年では新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休校等の影響もあると考えられます。					目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 健康・体力向上の推進

指標	健康的な生活を送っている児童生徒の割合(毎日朝食を食べると回答)(%) 【学校支援課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		97.5	96.4	97.3	98.0	(横ばい)
評価	(状況)朝食を「必ず食べる」「1週間に2~3回食べないことがある」児童生徒の割合は、基準値(97.5%)と比較して、0.2ポイント低下しましたが、前年度と比較し0.9ポイント向上しています。 (要因)新型コロナウイルス感染症への対応が図られてきたことで、家庭での生活リズムへの意識がやや向上したことがあげられます。					対 前年度
						(向上) 目標 達成度 (低)

基本事業03 健康・体力向上の推進

指標	健康的な生活を送っている児童生徒の割合(1週間のうち1時間以上運動すると回答)(%) 【学校支援課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		79.8	80.1	88.0	85.0	(向上)
評価	(状況)1週間のうち外遊びや運動・スポーツを1時間以上する日数について、「ほとんど毎日する」「ときどきする(週1~2日)」と回答した児童生徒の割合は、基準値(79.8%)と比較して、8.2ポイント向上しました。また、前年度と比較して、7.9ポイント向上し、目標値をも上回っています。 (要因)新型コロナウイルス感染症への対応が図られてきたことで、運動をする機会が増加してきたことが原因としてあげられます。					対 前年度
						(向上) 目標 達成度 (達成)

基本事業03 健康・体力向上の推進

指標	新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク(A, B, C)の児童の割合(%) 【学校支援課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		84.9	未実施	77.7	88.0	(低下)
評価	(状況)前年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、新体力テストは実施しておりませんでした。令和3年度は実施しました。基準値に比べ7.2ポイント低下しています。 (要因)体育の授業や、体育的諸活動が、新型コロナウイルス感染症禍以前の活動にはまだ戻っていないことが原因と考えられます。					対 前年度
						(比較不可) 目標 達成度 (低)

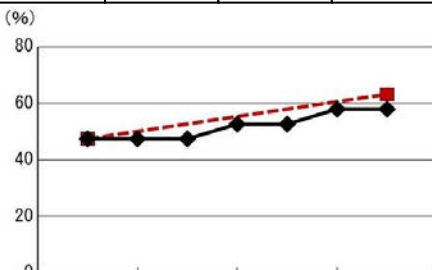
基本事業03 健康・体力向上の推進

指標	新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク(A, B, C)の生徒の割合(%) 【学校支援課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		83.5	未実施	83.5	86.0	(横ばい)
評価	(状況)前年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、新体力テストは実施しておりませんでした。令和3年度は実施しました。基準値と同数となっています。 (要因)体育の授業や、体育的諸活動が、新型コロナウイルス感染症禍以前の活動にはまだ戻っていないことが原因と考えられます。					対 前年度
						(比較不可) 目標 達成度 (中)

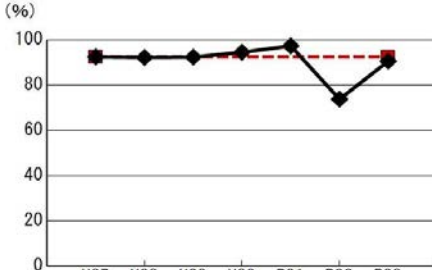
基本事業04 学習環境の整備

指標	施設維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【教育総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 施設維持管理上の不具合による教育支障件数は、前年度と同様に0件でした。					☀ (向上)
	(要因) 成果の要因として、雨漏り改修・トイレ改修工事年次計画表に則り、施設改修に努めていることが挙げられます。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

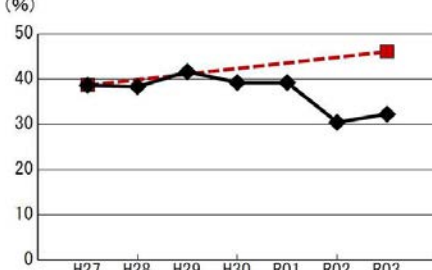
基本事業05 小・中学校適正規模・適正配置の推進

指標	標準規模（12学級以上）小学校の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【教育総務課】	47.4	57.9	57.9	63.2	☀ (向上)
評価	(状況) 標準規模（12学級以上）小学校の割合は、基準値(47.4％)と比較して、10.5ポイント向上しています。					☁ (横ばい)
	(要因) 児童数の増減に伴い、学級数に多少の変動があったことから、前年度と比較して実績値が減少していますが、学校再編等の結果ではありません。 小学校2校で、令和4年度の統合に向けて取り組んでいることから、実績値としては令和4年度に反映されるものです。					目 標 達成度 ■■ (中)

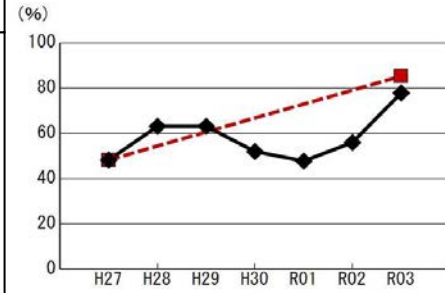
基本事業06 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

指標	学校・家庭・地域が連携していると思う保護者の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	92.4	73.7	90.5	92.4	☔ (低下)
評価	(状況) 学校・家庭・地域が連携していると回答した保護者の割合は、基準値(92.4％)と比較して、1.9ポイント低下しました。しかし、前年比と比較して、大きく上回っています。					☀ (向上)
	(要因) 新型コロナウイルス感染症がピークアウトしたことから、対策を継続しながら、学校・家庭・地域連携の取組が再開されたことが挙げられます。					目 標 達成度 ■■ (低)

基本事業06 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

指標	学校応援団を含めた学校ボランティア数の児童生徒数に対する割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	38.6	30.4	32.2	46.0	☔ (低下)
評価	(状況) 学校応援団を含めた学校ボランティア数の児童生徒数に対する割合は、基準値と比較して、6.4ポイント低下しました。しかし、前年に比べ、1.8ポイント向上しました。					☀ (向上)
	(要因) 前年に比した向上の要因としては、新型コロナウイルス感染症のピークアウトに伴い、行事・活動が再開され始めたことが挙げられます。					目 標 達成度 ■■ (低)

基本事業06 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

指標	研修や研究会での成果を教育活動に積極的に反映させていると回答した学校の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【学校支援課】	48.2	55.9	77.8	85.2	☀ (向上)
評価	(状況) 研修や研究会での成果を教育活動に積極的に反映させていると回答した学校の割合は、基準値(48.2％)と比較して、29.6ポイント向上しました。					☀ (向上)
	(要因) 鴻巣市教育委員会教職員研修グランドデザインに基づき、ライフステージに対応した諸研修を各学校に周知し、計画・実施してきたことが挙げられます。					目標 達成度 ■■■ (中)